



神戸海星病院ニュース

2012年
8月号
No.95

KOBE KAISEI HOSPITAL
~SINCE 2003~



日本医療機能評価機構
認定医療機関

<内科医師のご紹介>

内科医長 中村 晃

2012年4月から神戸海星病院に赴任しました内科の中村 晃と申します。当院に勤務するまでは鐘紡記念病院（現 神戸百年記念病院）、小野市民病院や神戸大学医学部附属病院で勤務をしていました。

医師になって今年で11年目になります。大学病院で研修医として働き出した頃、世間は日韓共催のサッカーワールドカップ一色でした。ハーバーランドでベッカム選手を目撃したという情報を耳にして、羨ましいなあと思いながら、カンファレンスや病棟業務に明け暮れていました。

2年目からは市中病院で内科医として勤務し、急性期から慢性期の疾患まで、臓器に囚われず様々な疾患を経験させて頂きました。同じ病気でも患者さんの状態により治療方針が変わるた

め、血液検査や尿所見など検査結果の解釈も勿論大切ですが、患者さん自身をよく診る事も、最適な医療を行う上で欠かせない事だと痛感させられました。

医の業は習熟に在らざればその妙処は得がたし。此の故に一人にても多く病者を取扱い、功を積みたる上ならでは、練熟することは成り難しと知れり。（『形影夜話』杉田玄白）

医療の進歩に伴い専門化が進み、知識や技術にはどうしても個人差が出てきます。しかしヒトを診るという仕事に変わりはありません。丁寧に分かりやすい医療を心掛けて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

病院機能評価 ver.6の認定を受けました。

当院は、2012年7月6日に日本医療機能評価機構による病院機能評価 ver. 6 の該当病院に認定されました。病院機能評価とは、病院が医療を提供するための基本的な機能・活動が、適切に行われているかどうかを中立な第三者が評価する仕組みです。当院は2007年5月にver. 5の認定を受けており、今回はver. 6への更新が認定されたものです。

当院の評価結果はインターネットでも公開されていますので、ぜひご覧ください（※ver. 6は近日公開予定）。

今後も、患者様に良い医療を提供するための様々な事に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

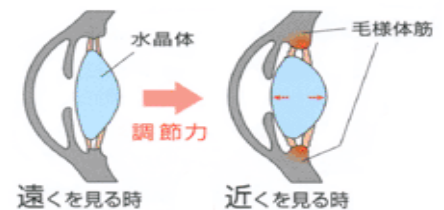


近視は老眼になる？ならない？

眼科・アイセンター 視能訓練士 村上 礼子

近視で眼鏡を装用している方、新聞の文字が眼鏡を外した方が見やすくなってきていませんか？
もしくは 今までより新聞を少し離れた距離でピントが合うようになっていませんか？
それは、老眼のサインです。

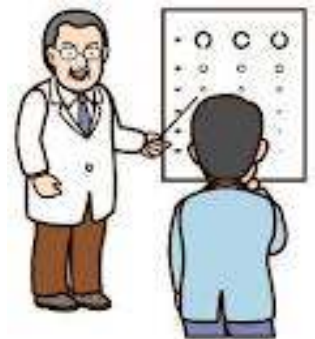
私達は物を見る時、毛様体筋が収縮してチン氏体が緩み水晶体が膨らみピントを合わせています。右図のように近くを見る時は水晶体が膨らんでいますが加齢により毛様体筋が衰え水晶体の弾力性も低下し、近くにピントを合わせにくくなります。この状態を老眼といいます。



一般に40歳頃から始まるとされています。目の老化現象なので遠視の人も近視の人も皆さんなります。

近視の場合、遠くも近くも眼鏡装用したままで見えていたのが先に述べた状態になっているのは、ピントを合わせる力（調節力）が低下しているためです。つまり、老眼のため。対策は遠近両用眼鏡や老眼鏡の装用になります。

もし、老眼鏡が作成した時より更に距離を離さないと見えにくくなってきたら、老眼が進行した可能性があります。その際は眼鏡の度数変更が必要になります。



ただ気をつけたいのは老眼のせいで見えにくいと思っても、実は白内障の進行や他の病気が原因のことがあります。

快適な日々を過ごすためにも、40歳を過ぎたら老眼をはじめ目の検診を受けることをお勧めします。

ブラック・ジャック セミナーのご案内



このたび、神戸海星病院では、社会貢献活動の一環として、「将来の医師を育てる」ことを目標に、神戸市内の中学生を対象にした「ブラック・ジャック セミナー」（模擬手術等の体験セミナー）を企画いたしましたので、ご案内申し上げます。最新の医療にふれる機会を提供し、何よりも尊い「人の命」を救う医師の仕事にふれ、一人でも多くの子供たちが、将来の日本の医療を支える医師を志すきっかけとなれば、幸甚でございます。つきましては、下記のとおり計画概要をご案内させていただきます。趣旨をご理解の上、ご参加・ご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

なお、当イベントの詳細・申込方法につきましては、当院のホームページ (<http://www.kobe-kaisei.org/>) をご覧ください。

～七タコンサート 開催しました～

7/6(金) 16時より、病院ロビーにて、恒例の第6回七タコンサートを開催しました。今年も職員他の皆さんによる演舞・演奏などが披露されました。入院患者さまを中心に、会場は大いに盛り上がりました。

～プログラム～

- ★ギター演奏 臨床検査部 藪下 (写真A)
- ★民謡三味線演奏 うみのほし 三好様 (写真B)
- ★能・謡&仕舞 メディカルサポート課 吉田 (写真C)
- ★箏演奏 薬剤部 濱田 & ご親族
- ★みんなで歌おう童謡メドレー 和楽器メンバー & 経理 福本 (写真D)



病院からのお願い

この日付に注意してください！

8月1日より、後期高齢者医療被保険者証と、限度額適用・標準負担額減額認定証が新しいものに更新になっています。受診の際は、**必ず新しい保険証・認定証を持参いただきます様、お願いいたします。**古い保険証・認定証（7月末まで有効）は、使用できませんので、十分ご注意願います。



※交付手続きについては、お住まいの自治体にお問い合わせください。

(フロアサービス課)

病院の理念と基本方針



患者様の権利

- ★自分の意思と人権を尊重される権利を持っています。
- ★公正で適切な医療を受ける権利を持っています。
- ★診療上の情報と説明を受ける権利を持っています。
- ★医療行為を選択する権利を持っています。
- ★プライバシーを保証される権利があります。
- ★セカンドオピニオンを保証される権利があります。



編集後記

毎日暑すぎて、大変です。

(しんも)

東京スカイツリーが8月1日に来場者数100万人を突破したそうです。1日に13,000人以上が昇っている計算になります (!) 東京はなかなか行く機会がないのですが、いつかは昇ってみたいと思っています。

(マルモリ)

神戸海星病院ニュース 8月号 2012年 8月 1日 発行

医療法人財団 神戸海星病院
 〒657-0068 神戸市灘区篠原北町3-11-15 <http://www.kobe-kaisei.org/>
 TEL 078 (871) 5201(代表) 責任者 辻本 武志 編集責任者 森元 秀敏